

## 丸山直文 CV

1964 新潟県生まれ、東京都在住、武蔵野美術大学造形学部油絵学科特任教授

### 個展

2022	「水を蹴る」 シュウゴアーツ (東京)
2018	「ラスコーと天気」 シュウゴアーツ (東京)
2017	「流」 ウソンギャラリー (大邱、韓国)
2013	「夜みる夢を構築できるか」 シュウゴアーツ (東京)
2012	「丸山直文展 一風をあつめてー」 E&C ギャラリー (福井)
2010	「透明な足」 シュウゴアーツ (東京)
2008	「丸山直文展-後ろの正面」 目黒区美術館 (東京)
2007	「Everyone has his day and some days last longer than others」 Galerie Lucy Mackintosh (ローザンヌ、スイス)
2005	「朝と夜の間」 シュウゴアーツ (東京)
2004	「Weather」 ガレリアミーシャ (高松)
2003	「時の温度:大きな水」 シュウゴアーツ (東京)
2002	GALLERY ZERO (大阪) 「Naofumi Maruyama - Painting」 Thomas Erben Gallery (ニューヨーク、アメリカ) 「丸山直文展: missing」 ギャラリーとわーる (福岡)
2001	「Tokyo, Toys et Stories」 Pruess & Ochs Gallery, Asian Fine Arts Berlin (ベルリン、ドイツ)
2000	ハヤカワマサタカギャラリー (東京)
1999	「Temperierte Zeit」 アトリエ 村田&フレンズ (ベルリン、ドイツ)
1998	「時の温度」 佐谷画廊 (東京)
1996	ハヤカワマサタカギャラリー (東京) 佐谷画廊 (東京)
1995	MAT (名古屋)
1994	ギャラリーとわーる (福岡)
1993	なびす画廊 (東京) MAT (名古屋)
1992	モリスギャラリー (東京) 佐谷画廊 (東京) ギャラリーとわーる (福岡)
1991	村松画廊 (東京) INAX ギャラリー (東京)
1990	青山ギャラリー (東京)

### 主なグループ展

2022	「DOMANI・明日展 2022-23」 国立新美術館 (東京) 都美セレクション グループ展 2022 「眼差しに熱がこぼれる」 東京都美術館 (東京)
2021	「Next World-夢みるチカラ タグチ・アートコレクション×いわき市立美術館」 いわき市立美術館 (福島) 「シュウゴアーツショー」 シュウゴアーツ (東京)
2020	「開館25周年記念コレクション展 VISION   DISTANCE いま見える景色」 豊田市美術館

# ShugoArts

	<p>(愛知)</p> <p>「シュウゴアーツショー」 シュウゴアーツ (東京)</p> <p>「絵画のミカター5人のアーティストとみる群馬県立近代美術館のコレクション」 群馬県立近代美術館 (群馬)</p> <p>「シュウゴアーツショー」 シュウゴアーツ (東京)</p>
2019	<p>「タグチ・アートコレクション 球体のパレット」 札幌芸術の森美術館 (北海道)</p> <p>「シュウゴアーツショー」 シュウゴアーツ (東京)</p> <p>「シュウゴアーツショー」 シュウゴアーツ (東京)</p> <p>「百年の編み手たち -流動する日本の近現代美術-」 東京都現代美術館 (東京)</p>
2018	<p>「モネ それからの100年」 名古屋市美術館 (愛知) / 横浜美術館 (神奈川)</p> <p>「高松市美術館コレクション+ 木村忠太とこぼれる光の中で」 高松市美術館</p> <p>「シュウゴアーツショー」 シュウゴアーツ (東京)</p>
2017	<p>「アートのなぞなぞ-高橋コレクション展」 静岡県立美術館 (静岡)</p> <p>「東京藝術大学 日本画第一研究室 発表展」 東京藝術大学美術館 (東京)</p> <p>「鉄道絵画発→ピカソ行き コレクションのドア、ひらきます」 東京ステーションギャラリー (東京)</p> <p>「シュウゴアーツショー 1980年代から2010年代まで」 シュウゴアーツ (東京)</p> <p>「GROUND α Collaborative Drawing -ぼくの土地にみんなで家を建てた」 NADiff Gallery (東京)</p>
2016	<p>「GROUND2 絵画を語る-見方を語る」 武蔵野美術大学美術館図書館 (東京)</p> <p>「身も心も！現代アートに恋い焦がれて」 大分県立美術館 (大分)</p> <p>「幻想へのいざない あけてみよう、芸術館のふしぎの扉」 北海道立釧路芸術館 (北海道)</p>
2015	<p>「北陸新幹線開業記念 お召列車と鉄道名画 ～東日本鉄道文化財団所蔵作品を中心に～」 富山県水墨美術館 (富山)</p> <p>「ミラー・ニューロン 高橋コレクション展」 東京オペラシティアートギャラリー (東京)</p> <p>「モダン百花繚乱・大分世界美術館」 大分県立美術館 (大分)</p> <p>「シュウゴアーツ：毎週末の画廊、三宿SUNDAYの隣」 シュウゴアーツ ウィークエンドギャラリー (東京)</p>
2014	<p>「絵画の輪郭」 シュウゴアーツ (東京)</p> <p>「GROUND」 愛知県立芸術大学サテライトギャラリー (愛知)</p> <p>「ニイガタ・クリエーション-美術館は生きている」 新潟市美術館 (新潟)</p>
2012	<p>「キュレーターからのメッセージ 2012 現代絵画のいま」 兵庫県立美術館 (兵庫)</p> <p>「Relation: 継がれるもの-語りえぬもの」 武蔵野美術大学美術館 (東京)</p> <p>「庭をめぐれば」 ヴァンジ彫刻庭園美術館 (静岡)</p> <p>「DOMANI・明日展」 国立新美術館 (東京)</p>
2011	<p>「Pathos and Small Narratives: Japanese Contemporary Art」 Gana Art Gallery (ソウル)</p> <p>「People don't do such things !」 Gallery Lusy Mackintosh (ローザンヌ)</p>
2010	<p>「椿会展2010 Trans-Figurative」 資生堂ギャラリー (東京)</p> <p>「Living with art-Contemporary Art from Japan and Taiwan」 Yi &amp; C. Contemporary Art space (台北、台湾)</p>
2009	<p>「現代美術のクラシック 1945-」 新潟県立近代美術館 (新潟)</p> <p>「結びあう影」 ヴァンジ彫刻庭園美術館 (静岡)</p> <p>「椿会展2009 Trans-Figurative」 資生堂ギャラリー (東京)</p> <p>「美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」 埼玉県立近代美術館 (埼玉)</p>

# ShugoArts

2008	<p>「ネオテニー・ジャパン 高橋コレクション」新潟県立近代美術館（新潟）          秋田県立近代美術館（秋田）、米子市美術館（鳥取）          「TAMA VIVANT II 2008 イメージの種子 美術が発芽するとき」多摩美術大学（東京）          みなとみらい駅地下3階コンコース（横浜）          「越後の花鳥風月」まつだい「農舞台」ギャラリー（新潟）          「椿会展2008 Trans-Figurative」資生堂ギャラリー（東京）          「Comme des betes. Ours, cochon, chat &amp; Cie」Musee cantonal des Beaux-Arts（ローザンヌ）</p>
2007	<p>「現代絵画の展望-それぞれの地平線-」東京ステーションギャラリー（東京）          「水のかたち」茨城県立近代美術館（水戸）          「水の情景 - モネ、大観から現代へ」横浜美術館（神奈川）          「美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」ビュフェ美術館（静岡）          「ポートレート・セッション」広島市現代美術館（広島）          「「森」としての絵画 - 「絵」のなかで考える」岡崎市美術博物館（愛知）          「DOMANI・明日」損保ジャパン東郷青児美術館（東京）</p>
2006	<p>「ベルリンー東京」Neue Nationalgalerie（ベルリン）          「Sweet Memories」北海道立近代美術館（北海道）          「西から東から」シュウゴアーツ（東京）</p>
2005	<p>「ユートピアを探しにー想像力の彼方へ」新潟県万代島美術館（新潟）          「秘すれば花」森美術館（東京）          「Le invasioni barbariche」Galleria Continua（シエナ）</p>
2004	<p>「新潟の作家 100 人展」新潟県万代島美術館（新潟）</p>
2003	<p>「ハピネス：アートにみる幸福への鍵」森美術館（東京）          「SILVER LINE」桜華書林（長野）          「Der Rest der Welt」Neuffer am Park（ピルマゼンス、ドイツ）          「DOMANI・明日」損保ジャパン東郷青児美術館（東京）</p>
2002	<p>「2002 台北ビエンナーレ：世界劇場」台北市立美術館（台北、台湾）</p>
2000	<p>「Scape」ハヤカワマサタカギャラリー（東京）          「Closing Show」佐谷画廊（東京）          「Continental Shift」ルートヴィヒ・ファーラム（アーヘン、ドイツ他）</p>
1999	<p>「MOT アニュアル1999 ひそやかなラディカリズム」東京都現代美術館（東京）          「Berlin - Tokyo, Tokyo - Berlin」(with Michaela Drenhaus), Galerie Atelieretage Oberschoeneweide（ベルリン、ドイツ）          「Painting for Joy: New Japanese Painting in 1990s」国際交流基金（東京）、他巡回          「Kuenstler fuer Kinder, 1999」ベルリン・ユダヤ博物館（ベルリン、ドイツ）</p>
1998	<p>「第15回平行芸術展：イメージ・ストーリー」エスパス小原（東京）          「アート/生態系：美術表現の自然と制作」宇都宮美術館（栃木）</p>
1996	<p>「女性の肖像—日本現代美術の顔」渋谷区立松濤美術館（東京）          「TOYAMA NOW '96：第6回富山国際現代美術展」富山県立近代美術館（富山）          「Sharaku Interpreted by Japan's Contemporary Artists」国際交流基金（巡回展）</p>
1995	<p>「視ることのアレゴリー：1995 絵画・彫刻の現在」セゾン現代美術館（東京）</p>
1994	<p>「第8回インドトリエンナーレ」ラリカット・カーラ・アカデミー（ニューデリー、インド）          「5人展」MAT（名古屋）          「アジアの創造力」広島市現代美術館（広島）</p>

# ShugoArts

	「TAMA VIVANT '94」多摩美術大学（東京） 「Dialogue」NW ハウス（東京） 「丸山直文・児玉靖枝二人展」ギャラリーKuranuki（大阪）
1993	「アブソリュート・ビギナーズ展」ギャラリー16（京都） 「2人展：大野浩志、丸山直文」MAT（名古屋） 「第12回平行芸術展」小原流会館（東京） 「Contemporary Paintings from Singapore and Japan」国際交流基金ASEAN カルチャーセンター（東京）
1992	「ドローイング展」ヒルサイドギャラリー（東京） 「Some aspects of painting」ギャラリー白（大阪） 「ペインティング/クロッシング」横浜ガレリア（神奈川） 「3人展」ギャラリー古川（東京） 「現代美術への視点：形象のはざまに」東京国立近代美術館（東京） 「TEMPVS VICTUM MTM Collection」小原流会館（東京）
1991	「ドローイング展」ヒルサイドギャラリー（東京） 「The Changing Present Painting as Prescription」青山ギャラリー（東京） 「3人展」青山ギャラリー（東京） 「色相の詩学展：現代絵画・平面からのメッセージ」川崎市民ミュージアム（神奈川） 「未来のクロニクル」メモリーズギャラリー（愛知）
1990	「B ゼミ展」横浜市民ギャラリー（神奈川） 「アートフェスティバル MITO・10 月展」水戸芸術館（茨城）
1989	「HB Show」ギャラリー現（東京） 「B ゼミ展」横浜市民ギャラリー（神奈川）
1988	「B ゼミ展」横浜市民ギャラリー（神奈川）

## 受賞

2008	芸術選奨文部科学大臣新人賞
------	---------------

## パブリックコレクション

金沢 21 世紀美術館（石川）
いわき市立美術館（福島）
北九州市立美術館（福岡）
北海道立釧路市芸術館（北海道）
東京都現代美術館（東京）
新潟市美術館（新潟）
大分県立美術館（大分）
資生堂アートハウス（静岡）
高松市美術館（香川）
国際交流基金（東京）
群馬県立美術館（群馬）
国立国際美術館（大阪）
東京国立近代美術館（東京）
新潟県立近代美術館（新潟）
東京ステーションギャラリー（東京）
豊田市美術館（愛知）

# ShugoArts

UBS 銀行
--------

ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡）
-----------------

## 出版

2019	「絵画組成 絵具が語りはじめるとき」武蔵野美術大学出版局
------	------------------------------

2008	「丸山直文全作品集 1988-2008」求龍堂
------	-------------------------

2007	「丸山直文作品集 Naofumi MARUYAMA: go out go home」リトル・モア
------	--